



国際数理科学協会会報

No.63/ 2009. 5

編集委員： 藤井正俊(委員長)、藤井淳一

目次

- | | |
|------------------|-----------|
| * 寄稿 | * 役員候補者名 |
| * 国際数理科学協会会則 | * 研究集会の案内 |
| * 2009 年度理事会総会報告 | * 雑誌の案内 |
| * 会計報告(2008 決算) | * 機関会員募集 |
| * 研究集会代表者交代 | * 正会員申込用紙 |
| * 会長選挙 | * 会員募集 |

* 寄稿

早稲田大学・ブリュッセル自由大学交流の雑感

早稲田大学基幹理工学部 谷口 正信

この十余年にわたる、ブリュッセル自由大学の研究者との交流のとりとめもない雑感を述べさせていただく。大学院生のころから、確率過程の統計学である時系列解析の研究をしているが、一昔前には、この分野では、統一的な最適推測論が確立されていなかった。1980年代半ばから、局所漸近正規性(LAN)に基づく現代的な最適推測論を展開し始めたのが、ブリュッセル自由大学の Hallin 教授である。私もこの研究の流れに注目し、その流れに乗るようになった。1996年秋に Hallin 教授より招聘を受けブリュッセル自由大学に滞在する機会を得た。このとき、攪乱項が長期記憶構造をもつ時系列回帰モデルに対する LAN 性と最適推測論の研究を行い成果は

“Local asymptotic normality for regression models with long-memory disturbance“, Annals of Statistics Vol.27, 2054-2080, 1999, by

M. Hallin, M. Taniguchi, A. Serroukh and K. Choy.

として Hallin 教授との共著として出版された。その後、Hallin 氏とは非定期に相互交流をおこなってきたが2007年より、学振の日本・ベルギーの二国間交流事業共同研究

「時系列解析とその統計的金融工学への応用」

の支援を得て、定期的交流をおこなって来ている。第一回早稲田・ブリュッセル共同研究セミナーは、2007年10月29日 11月1日、箱根で開催された。主なテーマをあげると、Whittle 尤度型

Portmanteau tests、ダイナミクスの条件付非対称性の検定、非正規局所定常過程にたいする経験尤度法、分位点帰帰モデルにおけるセミパラメトリックな有効性、最適ポートフォリオ推定のリサンプリング問題、局所定常過程に対する情報量基準、楕円型分布における主成分分析等であった。温泉、富士山、芦ノ湖を楽しめる環境で、和気あいあいとした雰囲気、有意義な時間を過ごすことができた。日本側が従属構造へのLAN理論を展開したのに対してベルギー側は分布を正規からずらした場合のLAN理論を展開して、双方よい刺激を交換できたと思う。

2008年6月23日 24日には、Brussels-Waseda セミナーをブルッセルの Academie Royale de Belgique-Palais des Academies で開催した。参加者は、日本・ベルギーの通常のメンバーのほか、ベルギーの他の大学、オランダ、フランス、英国等の研究者も加わり、多彩で充実した顔ぶれであった。主なテーマをあげると、一般化情報量、予測問題、一般化パレート分布の極値問題への応用、多変量時系列解析、経験過程、局所定常過程の判別解析における大偏差原理、ランク統計量に基づいた主成分分析、時変係数自己帰帰過程、歪対称分布のメカニズム、時系列の経験尤度法、ランク統計量に基づいた単位根検定、非線形 AR-GARCH モデルの推測、多変量 GARCH モデルのロバスト推定、ポートフォリオ推測等極めて広範囲で多彩な話題であった。セミナーをおこなった Academie Royale de Belgique-Palais des Academies には、ベルギーの生んだ偉大な統計学者ケトレの像があり、ベルギーは小国ながら独特の高度な統計学研究の伝統を持った国であることもうなづけた。Hallin 教授のグループ以外の研究者とも交流が持て日本・ベルギーの2国間プログラムを超えた研究利得があったと思われる。この時期は、まさにベルギーの夏のよい時で、旨いベルギービールを楽しむことができた。

2009年は、日本側の開催で Waseda-Brussels セミナーを11月2日 4日、伊豆下田で開催した。Hallin 教授のグループと Monti 教授等のイタリアの研究者も加え時系列、多変量解析、歪対称分布等の議論をおこなった。代表的トピックは、時系列の非正則推定、ランクに基づいた主成分検定、ランダム係数時系列モデルの推定関数推定、ヨーロッパ型債権と株価の共通流動性因子、安定過程の経験尤度推測、ポートフォリオ推測におけるリサンプリング法、ARCH モデルの残差経験過程、対称分布の摂動で定義されるフレキシブルモデルの検定、独立成分分析における経験尤度法、対称性の検定統計量の Edgeworth 展開、パネルデータ解析等、広範囲で、多彩な話題が多数であった。今回は、前回よりもさらに特殊なLANアプローチや、経験尤度法、歪対称分布、独立成分分析等での展開がみられ、高度で有意義な時間を過ごすことができた。また伊豆は、箱根と趣が違い、外国からこられた人々もそれぞれ、楽しむことができたようであった。印象に残ったこととしては、Monti 教授が准教授以下の若手研究者を「Kids」と呼び、このセミナー以後、私も彼女の独特の呼び方を真似をすることにした。もっとも私の周辺の若手は、内心迷惑気味だったかもしれないが。。。、飲み屋での支払い時には、「Kids」の範疇に判別される方がうれしかったのは確かなようである。

日本・ベルギー二国間共同研究は、あと2009年6月にブリュッセルでセミナーを開催して終了となるが、Hallin 教授のグループと私たちのグループは不定期に交流をしていて、私も今春、ブルッセルを訪れ、3セミナー発表を行い研究交流を深めてきた。12月初旬には、彼らの一部をこちらに招聘予定で彼らもこちらの若手1名を2010年3月に Brussels に招聘予定でこのプログラムを基

礎として関係が強化されつつある。

ベルギーは欧州の小国であるが、ファン・ダイク、ブリューゲル、ルーベンスに代表されるフランドル芸術を生み、また社会物理学の祖である巨人的統計学者ケトレも生んできた高度な芸術、学問をつくり出す風土と思われる。Hallin 教授のグループも常に洗練された高度な数理統計理論を用いた学問を作ってきている。Hallin 教授は日本の浮世絵に深い興味をもっており、来日時には、日本の文化、芸術、歴史、グルメ等を楽しむのが常である。日本・ベルギーの二国間関係がさらに発展することを祈念している。

最後に、日本・ベルギー二国間共同研究の推進の中で、私の周辺の若手研究者達の一部の研究結果は、Scientiae Mathematicae Japonicae に掲載されており、本稿の話題と国際数理科学協会は、この点で相関があるということ付記しておきたい。

* 国際数理科学協会会則

ながくネットでは会則（案）あるときは英文の会則が掲載されていましたが、最近国際数理科学協会会則はかなり前 2005 年 7 月 1 日に制定されて正式な日本語のものが存在することが分かりました。その後 2 回改定されて、これをネットに出してあります。まだまだ不便なところもあるかもしれませんが、会員のご意見により使いやすい形にしていく考えです。何分よろしくご協力の程お願い致します。

国際数理科学協会 会長 長尾 壽夫

* 2009 年度理事会総会報告

今年度の総会が 3 月 2 8 日阪大中ノ島センターで行われました。そのさい、この日が大きな学会と日と同じく成り出席の予定をされていた方には申し訳なく思っています。今後そのようなことがないよう気をつけたいと思います。

出席者：5 名、委任状提出者：34 名

議事は次でした。

(1) 2008 年度(2008.1.1～2008.12.31) (寄付金特別会計含む)決算報告、2009 年度(2009.1.1～2009.12.31) 予算。

(2) 2008 年度事業報告、2009 年度事業予定、

(3) SCI 認定申請について

(4) 石原先生追悼号について

(5) その他

(1) に対しては次の項に掲載の通り報告され、承認された。

(2) 2009 年度は例年と同じ事業を予定している。また、前年度の事業報告は承認された。

(3) 現在申請中でしばらく時間がかかりそうである。

(4) 外人の方よりすでに 4 件ほどの原稿が届いている。出来ることなら 1 冊にまとまると良いという意見があった。関心のある方は投稿して頂きたい。

* 会計報告 (2008 決算)

2008年度 貸借対照表 (08/1/1-08/12/31)
(¥)会計

借 方			貸 方		
科目	期 首	期 末	科目	期 首	期 末
固定資産			協会活動予備資金		
流動資産	5,792,622	6,128,234	出版基盤強化積立金	1,000,000	1,000,000
定期預金	2,000,000	2,000,000	TOTAL INDEX 積立金	1,000,000	1,000,000
借事務所保証金	1,077,615	1,077,615	設備更新積立金	1,000,000	1,000,000
普通預金	2,381,120	2,939,562	IT 機器積立金	0	0
現金	333,887	111,057	事務所移転積立金	1,077,615	1,077,615
			事務機購入積立金	300,000	300,000
			減価償却積立金	400,000	400,000
			回転資金	333,887	111,057
			繰越金	681,120	1,239,562
合 計	5,792,622	6,128,234	合 計	5,792,622	6,128,234

外貨会計

借 方			貸 方		
科目	期 首	期 末	科目	期 首	期 末
固定資産			協会活動予備資金	\$100,000.00	\$100,000.00
流動資産			IT 機器積立金	\$48,286.00	\$48,286.00
定期預金	\$1,050.83	\$1,065.42	\$-¥準備金		
普通預金	\$205,459.79	\$215,281.20	繰越金	\$106,510.62	\$116,346.62
\$国債 2	\$48,286.00	\$48,286.00	合 計 \$	\$254,796.62	\$264,632.62
合 計 \$	\$254,796.62	\$264,632.62			
(ユーロ)	€ 3,907.95	€ 5,977.03	(ユーロ)	€ 3,907.95	€ 5,977.03
¥マルチマネー	¥239,568	¥266,424	¥マルチマネー	¥239,568	¥266,424
¥普通預金	¥5,771,791	¥1,191,363	¥普通預金	¥5,771,791	¥1,191,363

数理科学推進基金会計

借 方			貸 方		
科目	期 首	期 末	科目	期 首	期 末
清水基金	1,000,000	1,000,000	ISMS 受賞基金	1,000,000	1,000,000
功力基金	100,000	100,000	国際研究交流基金	220,300	737,510
石原	500,000	1,000,000	通信費	100,000	100,000
その他	12,000	737,190	交通費	100,000	100,000
			繰越金	191,700	899,680
合 計	1,612,000	2,837,190	合 計	1,612,000	2,837,190

2008年度 決算予算表 (国際数理科学協会)
(08/1/1-08/12/31)

収入

科 目	06年度決算	07年度決算	08年度予算	08年度決算	09年度予算
前年度繰越金	1,231,173	1,033,195	681,120	681,120	939,562
刊行物頒布代(書店)	1,758,600	1,517,400	1,500,000	1,540,200	1,500,000
刊行物頒布代(書店)海外\$より					1,700,000
会費					
機関会員 A(旧協力校)	689,790	389,790	389,790	419,790	
機関会員 B(交換誌)		300,000	300,000	300,000	300,000
賛助会員(機関会員)	1,231,265	1,422,715	1,400,000	719,515	800,000
正会員(国内)	804,330	1,263,000	2,100,000	877,060	900,000
海外書店郵送料(EBSCO)\$より					20,000
正会員(¥)	77,740	70,030	70,000	65,453	20,000
正会員(\$)					50,000
ページチャージ(¥)	532,299	489,776	500,000	178,238	210,000
ページチャージ(\$)	71,345	73,131	70,000		30,000
IT 機器積み立て金取り崩し	3,000,000				
(イ)減価償却積立金取り崩し分	433,649	312,520	100,000		200,000
(ロ)回転資金取り崩し分	277,825	384,805	200,000	3,219	240,000
預金利子	347	4,065	4,000	3,969	3,000
(\$→¥)	4,350,000	4,350,000	4,000,000	5,550,000	2,000,000
雑収入	4,200				
合 計	14,462,563	11,610,427	11,314,910	10,338,564	8,912,562

支出

科 目	06年度決算	07年度決算	08年度予算	08年度決算	09年度予算
通信交通輸送費(イ+ロ+ハ)	3,865,870	2,795,057	2,795,000	2,307,362	1,715,000
(イ)編集通信交通費	2,563,100	1,977,870	1,980,000	1,333,210	800,000
(ロ)査読通信費	65,250	66,137	65,000	14,147	15,000
(ハ)抜刷等輸送費	1,237,520	751,050	750,000	960,005	900,000
印刷費	1,394,870	1,202,755	1,200,000	1,224,215	1,200,000
組版委託費	1,048,300	550,400	550,000	213,675	250,000
SE 委託費	669,700	553,700	550,000	611,800	500,000
消耗品代	26,302	54,935	55,000	33,963	40,000
備品代(OA 機器 soft 等)	359,486	325,609	500,000	201,199	250,000
人件費	3,477,100	2,993,500	3,000,000	2,538,600	2,500,000
借事務所代	1,345,142	1,336,041	1,350,000	1,347,501	1,350,000
電話代	707,393	702,685	700,000	691,810	500,000
振込料	9,820	14,060	15,000	11,645	12,000
会報代(含送料)					
研究会会費	51,769			35,400	
コピー費	195,791	66,678	70,000	70,775	70,000
基礎財産へ繰入					
予備費等			529,910		525,562
次年度回転資金	277,825	333,887		111,057	
次年度繰越金	1,033,195	681,120		939,562	
合 計	14,462,563	11,610,427	11,314,910	10,338,564	8,912,562

* 研究集会代表者交代

代数、論理、幾何と情報科学研究集会(ALGI)の代表者が産総研 高井会員 鹿児島大 古澤会員 より4月から鹿児島大 古澤仁会員 鳥取環境大 西澤弘毅会員 に変更になりました。また、21年度は鳥取環境大にて研究集会を開催する予定です。

* 会長選挙

会報61号で会長候補者の公募を公示いたしました。その結果、候補者として現会長の長尾壽夫会員の推薦があり、会報61号で示したように(1)~(4)の事項を掲載します。規定に従い信任投票を行います。投票を2009年6月15日締め切りでwww, e-mail等で開始します。

(1) 推薦人：田畑吉雄、寺岡義伸

(2) 履歴：昭和16年10月11日生まれ、昭和35年徳島県立小松島高等学校卒業、
昭和36年広島大学理学部数学科入学、昭和43年広島大学大学院博士課程中退、
昭和43年同大学助手、昭和46年熊本大学教養部助教授、昭和53年筑波大学助教授、
昭和62年大阪府立大学工学部教授、平成17年同大学停年により退職、同大学名誉教授

(3) 専門は数理統計学である。其の中の

(a) 多変量正規分布の共分散行列に関するいくつかの検定とそれらの漸近分布

(b) ジャックナイフ法による多次元非正規分布の共分散行列の固有値、固有ベクトルに関する推定及び検定

(c) 正規分布、多次元正規分布に於ける平均値、平均ベクトルの逐次点推定などを行ってきた。

(a) に関する内容で1990年 Jacob Wolfowitz Prize (American Jour. of Math. & Manage. Sc.)を受賞した。

(4) 協会は何人の方よりヤポニカ出版に対して、ご援助を頂いております。今後ともご援助していただける方のために少しでもそれらの方に対して協会の出来る範囲で、公益法人の申請を通して些細ですが出来ることなら、負担の軽減を目指したいと思います。これと、前回の公約の海外の雑誌について、協会は勿論のこと少しでも他大学の足しなるように雑誌の行き先を決め協会の安定出版を目指したいと思います。

* 役員の候補者名

今回多くの役員が任期を迎えます。前回の会報でもお知らせしましたように推薦の依頼をしました。その結果次の方が推薦されてきました。規定に従い6月15日末締め切りの信任投票を行います。ネット上に掲載しますので投票をお願い致します。

執行役員： 井関清志(編集担当：SCMJ)、佐藤俊輔(編集担当：SCMJ)、藤井正俊(編集担当：会報) 毛利進太郎(編集担当：WWW)、渚勝(集会担当：遠隔研究集会)、栗木進二(集会担

当：遠隔研究集会)、中西シヅ(集会担当：I V M S)、岳五一(集会担当：共同国際研究集会)、高橋渉(集会担当：共同国際研究集会)、寺岡義伸(協会事業運営)

国内理事：石井博昭、木下佳樹

* 研究集会の案内

国際数理科学協会研究集会を下記の日程，場所で行う予定です。

開催日：平成21年8月12日

場所：神戸大学瀧川記念会館

現時点で，下記の3つの研究部会で分科会の開催が予定されています。

(1) 研究部会名：統計的推測と統計ファイナンス

世話人：地道正行(関西学院大学商学部)

熊谷悦生(大阪大学大学院基礎工学研究科)

連絡先：地道正行(jimichi@kwansei.ac.jp)

(2) 研究部会名：確率モデルと最適化

世話人：寺岡義伸(近畿大学経営学部)

北條仁志(大阪府立大学大学院理学系研究科)

連絡先：寺岡義伸(y-teraoka@bus.kindai.ac.jp)

北條仁志(hojo@mi.s.osakafu-u.ac.jp)

備考：日本オペレーションズ・リサーチ学会の以下の研究部会と共催予定です。

「不確実性下の意思決定モデリング」研究部会

主査：大西 匡光(大阪大学大学院経済学研究科/金融・保険教育研究センター)

幹事：西原 理(大阪大学大学院経済学研究科/金融・保険教育研究センター)

(3) 研究部会名：統計的デザイン，組合せ的デザインとその周辺

世話人：栗木進二(大阪府立大学大学院工学研究科)

連絡先：栗木進二(kuriki@ms.osakafu-u.ac.jp)

研究部会で講演をご希望の方は連絡先の方に申し込んでください。プログラムが決まりましたら，7月の会報でお知らせする予定です。

* 雑誌の案内

会員の属する大学等で、最近数学関係の雑誌は大学の法人化などで手に入れるのが経済的に困難なところもあるのではないのでしょうか。ここ協会には諸外国より、有名な雑誌が送られてきています。例えば、次の様な雑誌です。

- (1) Acta Scientiarum Mathematicarum
- (2) Annali scuola normale superiore - pisa - classe di scienze
- (3) Annals de L'Institut Fourier
- (4) Annals of Mathematics
- (5) Bollettino Unione Matematica Italiana (sezione A, B)
- (6) Bulletin of the Australian Mathematical Society
- (7) Canadian Journal of Mathematics
- (8) Colloquium Mathematicum
- (9) Communications on pure and Applied Mathematics
- (10) Indiana University Mathematics Journal

- (11) Journal of the London Mathematical Society
- (12) Memoirs of the American Mathematical Society
- (13) Monatshefte für Mathematik
- (14) Portugaliae Mathematica
- (15) Proceedings of the Japan Academy (series A, B)
- (16) Quarterly of Applied Mathematics
- (17) Revista Matemática Iberoamericana
- (18) Revue Roumaine de Mathématiques Pures et Appliquées
- (19) Serdica Mathematical Journal
- (20) Tohoku Mathematical Journal 東北数学雑誌

その他、多くの外国からの寄贈があります。また、日本で発行の著名な雑誌もあります。もし、先生の教室でこれらの雑誌に興味がありましたら、協会宛ご連絡下さい。研究に役立つことを希望いたします。

* 機関会員募集

機関会員の特典としては

(1)本屋より SCMJ を購入すると、print 版 45,000 円ですが、機関会員になると、print 版 33,000 円で **online も見ることができます。**

(2)会員でない 2 名の方を準会員（会費不要）として登録することができます。これにより、page charge（別刷代金）が会員と同じ扱いになります。

(3)上の準会員 2 名は online で SCMJ を見る事ができます。

(4) Net を用いて国際研究集会を催す時、アナウンス、アブストラクトの作成などお助けいたします。

大学、研究所等が協会から SCMJ 誌の直接購入すると、今年から online も無料で見るできるようになりました。機関会員の申込用紙です。適当にお使い下さい。

上にも書きましたように、2006 年より発効の機関会員制度により各機関会員に所属の研究者 2 名を会費無料で準会員として登録しますと、準会員が SCMJ に accept された論文を掲載するときの page charge（別刷代金）は会員と同額とすることにしました。

この新しい制度の機関会員の P.R. を、日本国内外（BRICS 諸国など）400 大学に向けて、昨年 1 月から始めています。同時に今迄の SCMJ 投稿者で会員でない方、また、個人会員および（機関会員の）準会員加入の P.R. も始めています。

*** Application for Academic and Institutional Member of ISMS**

Subscription of SCMJ	□Print + Online (¥33,000, US\$300)
University (Institution)	
Department	
Postal Address where SCMJ should be sent.	
E-mail address	
Person in charge	Name: Signature:
Payment Check one of the two.	□Bank transfer □Credit Card (Visa, Master)
Name of Associate Members	1.
	2.

正会員の特典としては(1)onlineでSCMJをみることが出来ます。(2)論文の掲載時にpage charge(別刷代金)が随分と安くなる。

(3) Netを用いて国際研究集会を催す時、アナウンス、アブストラクトの作成などお助けいたします。6,000円を支払うと、hard-copyのSCMJが一年を通じて手に入ります。

(4) 10年間個人会員を続けると、国内会員は70,000円、外国会員はUS\$600、途上会員はUS\$500を支払うと生涯会員となれます。

2008年度からの会費

Categories	国内会員	海外会員	途上国会員
単年度A会員	¥9,000	US\$75, €60	US\$117, €93
3年A会員	¥24,000	US\$200, €160	US\$117, €93
単年度S会員	¥5,000	US\$40, €32	US\$27, €21
3年S会員	¥12,000	US\$100, €80	US\$71, €57
生涯会員	¥90,000	US\$740, €592	US\$616, €493

日本語が出来る方の入会の申込用紙です。また、英語版も書いて頂くこととなります。近く Net 上で申し込み可能となるようにしますので、入会しようとする方はそれをご利用下さい。

*** 正会員申込用紙**

正会員入会申込書

氏名			英語名	
次の2つのうち会報等を送付先とする方に○を付けてお書き下さい。				
所属先住所	〒			
住所	〒			
専門分野	表 f*より選んで○で囲って下さい f-1, f-2, f-3, f-4, f-5, f-6, f-7, f-8, f-9, f-10, f-11, f-12, f-13, f-14			
E-mail address		電話番号		
		Fax 番号		
会員区分 該当部分にチェック	<input type="checkbox"/> A1 一般1年 <input type="checkbox"/> A3 一般3年 <input type="checkbox"/> S-A1 高齢者又は学生1年 <input type="checkbox"/> S-A3 高齢者又は学生3年 <input type="checkbox"/> 生涯会員			
所属先の施設	<input type="checkbox"/> ビデオ会議可能 <input type="checkbox"/> 遠隔会議可能 <input type="checkbox"/> コンピューターセンター			
所属先の通信システム	<input type="checkbox"/> ISDN <input type="checkbox"/> IP			
所属大学等が機関会員	<input type="checkbox"/> 会員である <input type="checkbox"/> 会員でない			
SCMJ のプリント版の購入				
<input type="checkbox"/> 希望 1年に付き 1年会員 9,000円、3年会員 8,000円**		<input type="checkbox"/> 希望しない		
高齢会員を申し込む場合	生年月日	学生会員の場合は在学証を添付		
日付				
私は ISMS 会員になり、国際数理科学協会に送り状に記載された年会費を払います。ISMS 会員として受け取った Scientiae Mathematicae Japonicae のコピーは個人使用とし、機関、大学または図書館やその他の組織の中に置かず、閲覧目的で会員購読することもしません。		署名		

* Notices from the ISMS March 2008 p.25 を御参照下さい。*ただし、3年間一括の場合は24,000円です。この申込みの内容は会との連絡以外には使用いたしません。

Application form for an individual member of ISMS

Family Name		First & Middle Name	
Check one of the following addresses to which "Notices from the ISMS" should be sent.			
Address of your institution (university)	<input type="checkbox"/>		
Home address	<input type="checkbox"/>		
Special fields*	f-1 f-2 f-3 f-4 f-5 f-6 f-7 f-8 f-9 f-10 f-11 f-12 f-13 f-14		
E-mail address		Tel.	
		Fax	
Membership category** (Circle one)	A1, A3, SA1, SA3, F1, F3, SF1, SF3, D1, D3, SD1, SD3, AL, FL, DL		
Check the facilities your institution has.	Conference room(s) for video conference Computer center		
Communication system of your institution	<input type="checkbox"/> ISDN <input type="checkbox"/> IP		
Is your institution (university) an Institutional Member of ISMS?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No		
I subscribe to the printed version of SCMJ.	<input type="checkbox"/> ¥6,000 (US\$60, €48) per year for those members of A1, SA1, F1, and SF1, D1 and SD1. <input type="checkbox"/> ¥5,500 (US\$55, €44) per year for those members of A3, SA3, F3, SF3, D3, SD3, AL, FL, and DL. <input type="checkbox"/> In case A3, SA3, F3, SF3, D3, SD3, AL, FL, or DL members make the payment at a time in advance, the price for 3 years is ¥15,000 (US\$150, €120).		
For the aged member, write your birth year.		For the student member, student registration certificate should be attached.	
Date of Application			
I wish to enroll as a member of ISMS and will pay to International Society for Mathematical Sciences the annual dues upon presentation of an invoice. Copies of Scientiae Mathematicae Japonicae received as an ISMS member will be for my personal use only and shall not be placed in institutional, university or other libraries or organizations, nor can membership subscriptions be used for library purposes.			
Signature			

* Notices from the ISMS March 2008 p.25 を御参照下さい。

**Notices from the ISMS March 2008 p.28 を御参照下さい。

ISMS (JAMS の継続) 会員募集

ISMS の出版物：ISMS は、創刊より約 60 年、国際的に高い評価を得ている Mathematica Japonica (M.J.) と、その姉妹誌で電子 Journal と Paper 誌とを持つ、Scientiae Mathematicae (SCM) とを発行してきました。両誌は合併して、“21 世紀 MJ/SCM New Series, Scientiae Mathematicae Japonicae (SCMJ)”として、電子版は 2000 年 9 月より発行してきました。印刷版は、1978 年 1 月より、年間 6 冊、700～1200 頁を出版しています。全体として 230 巻を超える、日本で最大量を誇る数理学の雑誌です。その特長は、下の 1)～7) です。

- 1) Editorial Board には、国内だけでなく、海外 15 カ国の著名な研究者 40 名が参加している。
- 2) 世界の research group に論文が紹介され、積極的な交流が推進されている。
- 3) Editor を窓口として直接論文を投稿できて、迅速な referee 及び出版が得られる。
- 4) 有名な数理科学者の original paper や、研究に役立つ survey が、毎号載せられている。
- 5) SCMJ は、世界の有名数理科学者による、極めて興味ある expository paper を、毎号 International Plaza 欄に掲載している。世界各国の図書館へ、広く配布されている。
- 6) 投稿論文は、accept 後 (又は組版後) 待ち時間 0 で発行されます。
- 7) Mathematical Review, Zentralblatt に from cover to cover で review されている。

ISMS の研究会：(1) 研究仲間がゆっくり時間をかけて発表、討論をする、特色ある参集型研究会が毎年行われ、非会員も含む多数の参加者の、活発な研究交流の場となっている。(2) ISMS には内外の著名な研究者が多数入っておられる。近いうちに内外を結ぶ高い level の研究会が online で行われる事を期待している。(本誌 45 号 3p 及び Notices March 2006 9p を御参照下さい)

ISMS の学術賞：会員の優れた論文を広く世界に紹介し、更なる研究を奨励するために、ISMS 賞、JAMS 賞、Shimizu 賞、Kunugui 賞、Kitagawa 賞を設けている。(詳しくは本誌 45 号 2p 会則 13 条を御参照下さい)

< ISMS の会員の特典 > 1 . SCMJ 電子版の購読 (print out も含む) 無料。 2 . SCMJ print 版の少額での購読 (下表 1)。 3 . Page charge (別刷代金) の discount (下表 2)。

< 機関購読会員の特典 > 1 . 機関内の 2 名の方を準会員として会費無料で登録することが出来る。 2 . 準会員は会員と同じ page charge (別刷代金) の discount を受けることが出来る。

表 1
【雑誌購読費】

	正会員 (1 年)	正会員 (3 年)	機関会員	定価
Print	¥ 6,000 US\$ 60, €48	¥ 5,500* US\$ 55, €44	¥ 33,000 US\$ 300, €240	¥ 45,000 US\$ 400, €320
Online	Free	Free		
Online+print	¥ 6,000 US\$ 60, €48	¥ 5,500 US\$ 55, €44	¥ 33,000 US\$ 300, €240	¥ 45,000 US\$ 400, €320

* 3 年会員のみ、雑誌購読費 3 年前分払いの場合は ¥ 15,000 になります。

著者の方には、SCMJ を 1 冊送料込みで 1,200 円または US \$ 12 で購入できます。

表 2
【ページチャージ】

	ISMS members	Non-members
p	¥ 3,500 (US\$35, €23)	¥ 4,000 (US\$40, €27)
Tex	¥ 2,000 (US\$20, €14)	¥ 2,500 (US\$25, €17)
LateX2e, LaTeX	¥ 700 (US\$ 7, € 4)	¥ 1,000 (US\$10, € 7)
Js (ISMS style file)	¥ 500 (US\$ 5, € 3)	¥ 800 (US\$ 8, € 5)

別刷作成について、次の費用の分担をお願いします。原稿の組版についての連絡費、抜刷送料等の事務処理として、一編について ¥ 1,000、及び上表の各原稿の種類による組版費を請求させていただきます。

(2008 年 Vol.67 から実施)

表 3
【2008 年の会費】

Categories	国内会員	海外会員	途上国会員
単年度 A 会員	¥9,000	US\$ 75, €60	US\$ 45, €36
3 年 A 会員	¥24,000	US\$ 200, €160	US\$ 117, €93
単年度 S 会員	¥5,000	US\$ 40, €32	US\$ 27, €21
3 年 S 会員	¥12,000	US\$ 100, €80	US\$ 71, €57
生涯会員**	¥90,000	US\$ 740, €592	US\$ 616, €493

**過去 10 年以上、正会員であった方に限る。

A 会員は正会員を指し、S 会員は、学生会員と高齢会員(70 歳以上)を指します。

国際数理学協会

International Society for Mathematical Sciences

〒590-0075 堺市堺区南花田口町 2-1-18 新堺東ビル内

Tel: (072)222-1850 / Fax: (072)222-7987 URL: <http://www.jams.or.jp>